

水戸葵陵高等学校医歯薬コース

2016年11月

医歯薬通信 *SANS FRONTIERES* vol.24

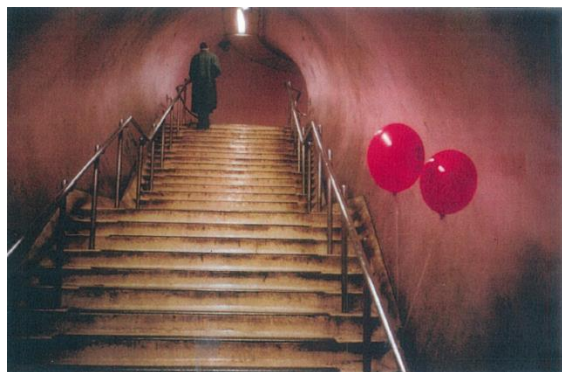
水戸葵陵高等学校ホームページ <http://www.kiryu.ac.jp/>

はじめに

今年も、大学入試のシーズンがやってきました。今号が出される頃は、推薦入試出願のピーク時でしょうか？

2015年1月、順天堂大学医学部の入学試験で、こんな問題が出題されました。いわゆる一般的な小論文形式の入試問題です。

《キングス・クロス駅の写真です。あなたの感じるところを800字以内で述べなさい。》



左の写真が出題された写真です。写真の中央には、地下鉄の駅の長い階段。日本にはあまりない洞窟のような階段です。写真の上の方には、下を向きながら少し暗い駅構内の階段をのぼりきった長いコートを着た男の後ろ姿。右下には手すりに結びつけられたような色鮮やかな2つの「赤い風船」が写っています。

写真を提示して、自分の考えたことや感じたことを論述させる問題自体は、従来から出題されている形式です。私は入試対策ということではなく、数名の生徒とこの写真について語り合ってみたところ、様々な解釈が得られました。紳士の心の内面の表象としてとらえる生徒。紳士を取り巻く社会構造としてとらえる生徒。「赤い風船」と「紳士」の「差異」に気づき、現代社会で大切なものを置き忘れてしまった人間の孤独を見出した生徒。

どのとらえ方も正解につながるもので、あとは、そのとらえ方をうまくロジカルに組み立てていけばよいのです。また、語り合うことで生徒がどのような思考を組み立てているのかも見えてきます。

日頃から、このような対話を試みることによって、今後増加していくであろうこのタイプの小論文に対応し得る力が養えるのではないかと思います。

今後も、色々な施策を講じて生徒を導いていきたいと思っています。

モザイクアート

本校の文化祭において医歯薬コースでは、毎年巨大モザイクアート作りを実施します。今年の実行委員長は、熊本地震により被災された方のことを考え、少しでも元気を与えることが出来ればと、くまモンとみとちゃんのコラボした案を考えました。熊本県と水戸市の許可もいただき夜遅くまで原案を考えていました。図面が出来た後は、各クラスごとに用紙を配布し、1.5センチ角の正方形の折り紙を延々と貼っていきます。その後、実行委員長を中心に、大きなブルーシートに貼り付ける作業を行いました。約12m×9mの大きな作品となり文化祭に訪れた方から歓声上がるなど立派な作品ができました。この作品をインターネットで見た熊本の方が少しでも元気になってもらえると幸いです。今年の修学旅行はオーストラリアです。今から来年のモザイクアートが楽しみです。



医学部進学予備校講演会

今回で3回目となります、医歯専門予備校メルリックス学院の学院長、田尻友久先生による講演会が7月2日(土)におこなわれました。毎年変わる医学部入試の現状について詳細にお話しいただき、医学部を目指す生徒および保護者の方は真剣にメモを取りながら聞き入っていました。昨年繰り上げ合格者が多かった現状から最後まで諦めず受験することの大切さも説明され、現役生はこれからが伸びる時期ということも考えると、1、2月の受験まで手を抜くことなく頑張ることが必要だと生徒は感じたようです。

サイエンスイマージョン

8月3、4日の2日間、英語で生物や物理の実験を行うサイエンス・イマージョンが実施され1・2年生27人が参加しました。

ネイティブの講師から英語で講義を受け、英語のテキストに沿って4人のグループで実験を行い、結果を代表者は英語でプレゼンテーションしました。2日目の最後に参加者全員が、このプログラムの感想を英語でひとりずつ発表する機会がありました。生徒は自分の思いを英語にして伝えることが難しかったようですが、1日目よりも2日目は沈黙も少なくなり、英語で伝えようと努力する生徒が増え、成長が感じられる2日間となりました。



教えて先輩

8月17日、本校医歯薬コースの卒業生が来校し、「教えて先輩」が実施されました。

医歯薬コースの1、2年生は医学部・歯学部、薬学部、保健医療系学部、理工系学部の4つの系統の中から自分の志望に合わせて2つの講座を受講しました。各教室では先輩達から大学の特徴や大学生活と高校生活の違いについて丁寧な説明がありました。現役高校生の質問に応える形で、自分が高校生だった頃の体験や、役立つ学習方法について具体的にアドバイスする先輩もいました。同じコースで3年間学び志望校に進学した先輩方の話は、在学生にとって興味深く、受験や進学に対する意識が高まった様子でした。



1日看護体験

夏期休業中に茨城県看護協会が主催する1日看護体験に本校から49名の生徒が参加を希望しました。県内の高校生が対象のため、本校でも16名が抽選に漏れる結果となり、33名の参加となりました。本校に限らず、将来の目標として看護師を挙げる生徒の増加が顕著であると言えるでしょう。

今年から、1日看護体験に参加した生徒は協会に感想文を提出することになり、提出された感想文に目を通すと、有意義な時間を過ごした様子が窺えました。会話が良く聞き取れない高齢の患者にも親切に笑顔で対応する姿、入院している患者一人ひとりの性格や特徴を把握し臨機応変に対応する姿に、仕事内容への認識の甘さを痛感する生徒。行動をともにしている看護師が受け持っていた患者が退院する日と重なり、挨拶の場面に立ち会い、そのやりとりを見て感動する生徒。それぞれが得た貴重な体験が書かれていました。

看護師不足と言われ、人気が高まり看護学部を設置する大学数が多くなりました。看護師の需要は見込めるものの、徐々に看護師の飽和状態になる虞もメディアの話題に上がっています。今後も同様の機会に積極的に参加するなどして、自身の進路について真剣に考えるとともに、理解を深めて欲しいと思います。

夏期学習合宿

8月23日～26日まで、そして8月27日～29日の2回に分けて行方市にあるレイクエコーにおいて学習合宿が行われました。それぞれの期間において完全習熟度別の講義が組まれており、医学部をはじめとする難関国公立大学を目指す発展的な学習から、1学期の復習を含めた基礎の徹底まで、個別指導に基づいた長時間学習を徹底して行いました。両方のグループともに朝の6時30分からの自習で始まり、昼間の講義を受け夜の10時50分までの自習と12時間以上に及ぶ勉強漬けの合宿でした。猛烈に勉強する2年生の姿を見て、1年生は大きな刺激を受けたようです。



総合学習発表会

医歯薬コースでは、総合学習の時間に自分たちでテーマを決めて調べ学習を行い、1、2年生合同で発表会を行います。

9月3日、2年生を発表者とした総合学習発表会が行われました。期間が短い中、夏休み中も作業を続け、1日からは仕上げと練習でたいへん忙しい思いをしましたが、さすがは2年生、しっかり資料を作って1年生に向けて発表することができました。

中には、クイズ形式を取り入れるなど工夫した班もあり、1年生も熱心に聞いていました。

次は3月。1年生が発表者になります。

